

令和8年度当初予算案 区長定例記者会見



ビニールハウス避難訓練後、
西水元の農場で小松菜を収穫

令和8年2月5日



目 次

✓令和8年度当初予算案	4
・一般会計では、2,830億と過去最大規模	
・令和7年度当初予算の一般会計と比較すると9.9%の伸び	
✓令和8年度一般会計歳入歳出予算款別表	5
✓当初予算案のピックアップ項目	6～17

新金線を活用した
新交通整備 6

シティプロモーション
の推進 8

シルバーパス
購入費助成 10

全国みどりと花フェア
かつしか開催 12

学習センター活用による
多様な学びの場 14

物価高騰対策・企業支援
16

目 次

✓各分野ごとの施策 18~37

分野名	1	2	3	4	5	6	ページ
	子 育 て ・ 教 育	健 康	環 境 ・ ま ち づ く り	防 災 ・ 安 全	産 業 ・ 觀 光	ス ポ ー ツ ・ D X	
分野名	18	23	27	30	34	35	ページ
令和8年度当初予算案	KATSUSHIKA-KU	力					



令和8年度葛飾区当初予算案

(単位：千円、%)

会計名	当初予算額		比較増減	
	令和8年度 A	令和7年度 B	金額 C (A-B)	率 C/B
一般会計	282,960,000	257,360,000	25,600,000	9.9
国民健保会計	49,994,000	48,850,000	1,144,000	2.3
後期高齢者医療会計	12,985,000	12,174,000	811,000	6.7
介護保険事業会計	47,079,000	47,271,000	△ 192,000	△ 0.4
用途別会計	293,700	293,700	0	0.0
駐車場事業会計	639,000	707,000	△ 68,000	△ 9.6
合計	393,950,700	366,655,700	27,295,000	7.4

〈参考〉本区一般会計当初予算の推移

(単位：億円、%)

年度	8年度	7年度	6年度	5年度	4年度	3年度
規模	2,830	2,574	2,399	2,231	2,120	1,994
伸び率	9.9	7.3	7.5	5.2	6.3	△2.7

令和8年度 一般会計歳入歳出予算款別表

歳入

歳出

年 度 款 名	令和8年度	令和7年度	増減額	増減率	構成比
1 特別区税	40,944,210	38,964,154	1,980,056	5.1	14.5
2 地方譲与税	737,000	732,000	5,000	0.7	0.3
3 利子割交付金	603,000	423,000	180,000	42.6	0.2
4 配当割交付金	1,274,000	986,000	288,000	29.2	0.5
5 株式等譲渡所得割 交付金	1,940,000	953,000	987,000	103.6	0.7
6 地方消費税 交付金	13,027,000	11,701,000	1,326,000	11.3	4.6
7 環境性能割 交付金	313,000	282,000	31,000	11.0	0.1
8 地方特例交付金	303,000	448,000	△ 145,000	△ 32.4	0.1
9 特別区交付金	99,000,000	94,000,000	5,000,000	5.3	35.0
10 交通安全対策 特別交付金	40,000	41,000	△ 1,000	△ 2.4	0.0
11 分担金及び 負担金	766,090	1,286,011	△ 519,921	△ 40.4	0.3
12 使用料及び 手数料	3,446,867	3,680,775	△ 233,908	△ 6.4	1.2
13 国庫支出金	57,514,827	52,584,606	4,930,221	9.4	20.3
14 都支出金	25,979,827	22,544,239	3,435,588	15.2	9.2
15 財産収入	1,145,884	511,805	634,079	123.9	0.4
16 寄附金	71,556	59,803	11,753	19.7	0.0
17 繰入金	17,256,725	21,185,076	△ 3,928,351	△ 18.5	6.1
18 繰越金	2,000,000	2,000,000	0	0.0	0.7
19 諸収入	5,026,014	4,977,531	48,483	1.0	1.8
20 特別区債	11,571,000	0	11,571,000	皆増	4.1
歳 入 合 計	282,960,000	257,360,000	25,600,000	9.9	100.0

年 度 款 名	令和8年度	令和7年度	増減額	増減率	構成比
1 議会費	609,514	592,446	17,068	2.9	0.2
2 総務費	30,751,226	28,885,540	1,865,686	6.5	10.9
3 環境費	8,584,805	8,250,874	333,931	4.0	3.0
4 福祉費	103,785,730	101,396,759	2,388,971	2.4	36.7
5 衛生費	8,816,971	8,349,321	467,650	5.6	3.1
6 産業経済費	5,326,429	5,997,770	△ 671,341	△ 11.2	1.9
7 都市整備費	25,842,770	21,291,538	4,551,232	21.4	9.1
8 教育費	47,749,937	34,857,177	12,892,760	37.0	16.9
9 職員費	29,178,805	27,034,475	2,144,330	7.9	10.3
10 公債費	2,449,907	1,248,543	1,201,364	96.2	0.9
11 諸支出金	19,563,906	19,155,557	408,349	2.1	6.9
12 予備費	300,000	300,000	0	0.0	0.1
歳 出 合 計	282,960,000	257,360,000	25,600,000	9.9	100.0

(単位 : 千円、 %)

~まちを ひとを 未来をつなぐ~

新金線を活用した新交通整備を進めます

ここに注目

◆新金線を活用した新たな交通システム整備構想を策定しました。
8年度は、整備構想に基づき、さらなる検討を進めていきます！

整備構想

新金線の複線用地を活用して**鉄道施設から独立した専用道**を整備し、BRT (Bus Rapid Transit) の手法をもとに新たな交通システムの構築を目指していきます。

北側区間は一般道路を走行する段階的な整備について優先的に検討を進め、早期実現に向けて取り組んでいきます。



事業名

新金線を活用した新たな交通システムの整備

予算額

258百万円

事業概要

【令和8年度の実施内容】

○事業化計画策定

施設計画：走行ルート、道路構造、導入車両等

運行計画：運行ダイヤ、運行システム等

事業計画：概算事業費、需要予測、運営体制等

そのほか：沿線まちづくり等

○調査設計（道路予備設計・橋梁予備設計・交差点処理等）

○新金線用地基礎調査

○各種協議（国・東京都・警視庁・道路管理者等）

早期実現に向けた
段階整備構想ルート



将来的な全線専用道による
整備構想ルート



目指す交通システム像

○新たな基幹交通としての輸送力

- ・多くの人に利用されるよう、需要に対応する輸送力を備えた連節車両を導入
- ・通勤通学や買い物など身近な交通手段として利用できる、高頻度の運行計画

○定時性・速達性に優れ、安心して利用できる

- ・定時性、速達性に優れ、安心して利用することができるよう、専用道を整備
- ・駅施設での事前料金収受や複数ドアによる乗降など、スムーズな運行ができる仕組みを導入
- ・定時性、速達性向上に向けた更なる検討

○誰もが快適に利用しやすい

- ・歩行空間から駅、駅から車両へスムーズに移動できる誰もが利用しやすい施設
- ・運行情報案内システムによるわかりやすい利用案内と快適な待合空間
- ・他の交通モードとも連携した利便性の高い交通ネットワーク

○まちの新たなシンボルへ

- ・地域に愛される先進的で魅力あるデザインの車両・駅施設

○環境に優しい交通機関・新たな技術の導入

- ・クリーンエネルギーを動力とした車両を導入
- ・自動運転技術など新たな技術の導入を検討



スケジュール

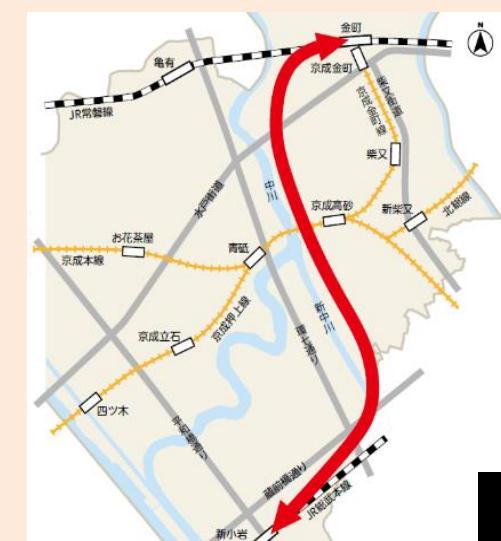
【スケジュール】

2026年～ 事業化計画策定、測量、予備設計等
2029年～ 事業化計画に基づき、順次、詳細設計、運営体制の構築等に着手
2030年代～ 事業着手
2030年代後半頃の段階整備による開通を目指し、事業化を推進

新金線とは？

新小岩と金町を結んでいる貨物路線。

葛飾区は、東西方向に比べ南北方向の移動手段が限られており、新金線を活用して新交通を整備することで、**南北移動の利便性向上**や**沿線地域の活性化**が期待されます。



選ばれるまちであり続けるために

葛飾区の魅力を訴求する シティプロモーション事業

① TikTok

Instagram

② SOUD LOGO



③ 広報特派員



【葛飾区のシティプロモーションのあゆみ】

2013年シティセールス係設置。2017年シティセールス担当部長設置。
広報番組「田中美保のすぐに行きたい子育て拠点」、「三浦孝太 & ミキ昂生の葛飾柴又ぶらり散歩」、「遠藤久美子 暮らしのまるごと相談窓口 P R動画」の制作などを実施してきました。

令和
7年度
事業

シティプロモーションサイト
キービジュアルにはざしきわらし氏の
描き下ろしイラストを採用

役に立つ情報提供を目指す
葛飾区シティプロモーションサイト

下町で『葛飾』
暮らしてみるのも
悪くないか！

役に立つ情報提供を目指す、葛飾区シティプロモーションサイト

どの街に住むか。これはけっこう大事な問題です。
やっぱり、便利な方がいいし、職場に近いと助かる。
自然が近くにあると楽しいし、素敵なお店があればうれしい。
葛飾はわりと住みやすい街だって、私たちは思っています。
でも、当然ながら葛飾が合う人も、合わない人もいます。
もっと本音ベースで、比較検討するための材料を提供したい。
PRなのでいいことを書きます。でも、それだけでなく。
「どの街に住もうか」と考えている人のために
ちゃんと役立つサイトであろうと思います。

へえ、かつしかの良いところ、ね。
いいけど、その前にひとつ聞いておきたいんだ。
住むなら良いことばかりじゃないでしょ？
リスクをどう捉えてるか、まずはそこから教えて。

【シティプロモーションサイト】

葛飾区の魅力を広く訴求し、イメージアップを図り、
区民のシビックプライドの向上も目指す専用サイト。

【ざしきわらし氏の略歴】

1987年福岡生まれ。イラストレーター。
主な作品に、2024年本屋大賞受賞「成瀬は天下を取りにいく」シリーズカバーイラスト、東京ゲームショウ2025のメインビジュアルなど多数。今回、葛飾区のために新作を描き下ろしていただきました。

情報発信の工夫を重ね、認知度とシビックプライドの向上を目指す

シティプロモーション事業

ここに注目

- ◆SNSやシティプロモーションサイトなど、多角的な手法で葛飾区の魅力を発信し、区民のシビックプライドを醸成し、子育て世代の流入を目指す。
- ◆令和8年度はInstagramの運用開始や音で区を訴求する「サウンドロゴの制作」、「区民広報特派員制度」の創設などを行っていきます。

事業概要

①SNS運用（1236万円）

区の資源や旬のトピックスを視聴者目線で紹介する動画を製作し、TikTokやInstagramで発信する。
広報課職員と委託事業者が連携して質の高い発信を行う。



新規

②サウンドロゴ制作（194万円）

声優のナレーション+効果音で葛飾区を訴求する
サウンドロゴを制作し、葛飾区の知名度・認知度向上を図る。
TikTokやYouTube動画などで使用。区民利用の開放も検討。



新規

③区民広報特派員制度の創設

区民がイベントや風景などを取材して魅力を発信する「広報特派員」を任命する。併せて、広報活動への「広報モニター」も委嘱。
10～15名。任期は7月1日から一年間（予定）。



事業名

シティプロモーション事業

予算額

26百万円

ねらい・背景

葛飾区が地域の内外から選ばれるまちを目指し、子育て世代の流入と区民の愛着醸成を目的とした区の魅力発信を様々な扱い手と手法によって推進していく。

参考事項

【葛飾区のTikTokについて】

2023年6月より公式アカウント「なんかいいよね、葛飾」の運用を開始。広報紙や他のSNSでは情報が届かない若年層へのアプローチを企図し、50万回を超える再生数の動画がいくつも誕生している。最も多く再生された「棕櫚（しゅろ）たわし」動画では、たわしを作る工程の音に注目。トレンドであるASMR（聴覚刺激などにより脳に心地よさを感じさせる）コンテンツとして作成、再生数は240万回超。

TikTok Japan主催の「TikTok Awards Japan 2024」での「Public Sector of the year」最優秀賞を受賞。葛飾区のアカウントをフォローしていない層にもアプローチできるメディアとして工夫を重ねている。

広報課

高齢者のお出かけを支援し、健康寿命延伸につなげ活気ある葛飾に！

葛飾区では、多くの方法で区民の交通を支えています！

細田循環バス

JR新小岩駅と東新小岩・奥戸・細田・鎌倉地域を結び、区民の交通利便性の更なる向上を目的として導入された循環バスです。

運行開始の令和3年2月より、年々利用者数が増加しています！



令和6年6月より
新デザインで運行中！

令和7年4月より
本格運行！

グリーンスローモビリティ

地域住民が自分たちで低速の電動車であるグリーンスローモビリティの運行を行い、お年寄りなどの外出を支援しています。ルート上ならどこでも降車でき、路線バスが入れない幅の狭い道路でも運行可能です。

令和7年10月より
実証運行開始！

かつライド

令和6年3月に路線バス（レインボーかつしか）が運行休止されたことを受けて実証運行が行われているデマンド交通です。民間のタクシー会社と協力し、利用者の配車依頼に応じて自宅と医療機関やスーパーなどの移動を手助けしています！



令和8年度より
シルバーバス購入費の助成開始
します！

お出かけをもっと気軽に！

シルバーパス購入費の助成を開始します

事業名

シルバーパス購入費助成事業

予算額

176百万円

【東京都シルバーパス】

70歳以上の都民が都営バスや都内の民営バスなどを1年間定額で利用できるバス

ここに注目

- ◆70歳以上のすべての方のシルバーパス購入に係る
自己負担額が1,000円となるように助成します！

ねらい

高齢者の外出や社会参加を促すことにより、健康寿命の延伸
や介護予防につなげます。

事業概要



●助成対象

- ・70歳以上の方
 - ・令和8年度の住民税課税者で合計所得金額が135万円を超える方
 - ・令和8年10月以降に、12,000円の東京都シルバーパスを購入した方
- ※ 助成対象以外の70歳以上の方は、1,000円で購入できます。

●想定購入者数：約13,000人

●助成額：**11,000円**

12,000円の東京都シルバーパスの自己負担額が、**1,000円**となるように助成します！

●スケジュール（予定）

7月～

10月～

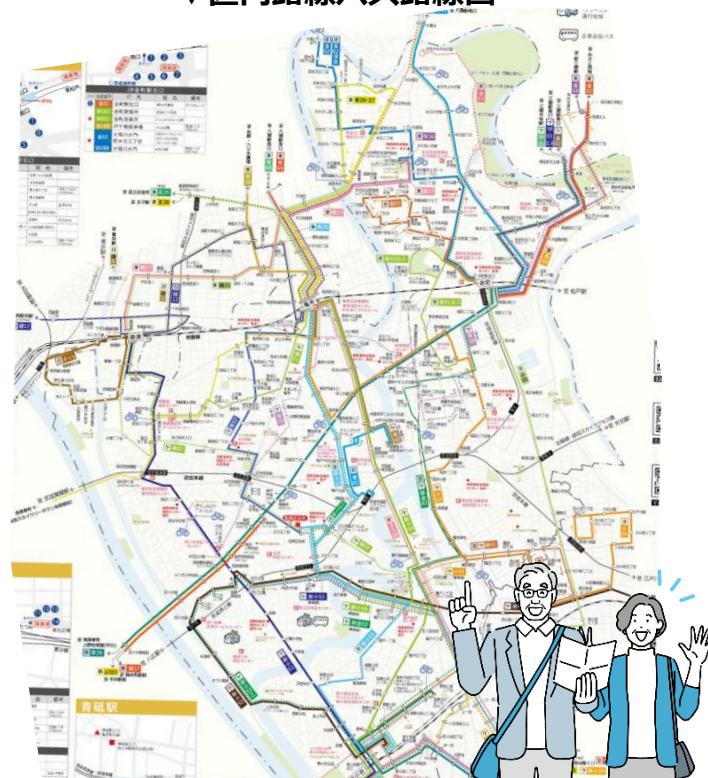
申請から
2～3か月後

コールセンター開設

助成申請の
受付開始

助成金が指定の口座に
振り込まれます

▼区内路線バス路線図



高齢者支援課

サカセ
みらい

「全国「みどりの愛護」のつどい」を
令和8年5月24日に
開催します！

「全国みどりと花のフェアかつしか」

令和8年5月16日～6月14日



特設サイトに飛べます！



開催まで100日！「全国みどりと花のフェアかつしか」の開催が近づいてきました！

ここに注目

令和8年5月16日（土）～6月14日（日）までの期間、葛飾にいじゅくみらい公園をメイン会場とし、フェアを開催します。イベントの期間中、区内で行われる花いっぱいまちづくりの活動と、みどりと花の豊かな葛飾区の魅力をさらに広げます。

Event

サテライト会場として、「新小岩駅周辺」及び「曳舟川親水公園広場ゾーン」を設定し、各会場の特色に沿ったブースの出店やステージイベントを行います。また、区全体を使った催しもあり、フェアを盛り上げていきます！



フォトコンテスト

あらかじめ定めた応募テーマ沿った、フェア関連の写真や葛飾区のみどりや花の写真を、Instagramに投稿してもらい入賞者を選定します。入賞者には景品を贈呈します。



デジタルスタンプラリー

葛飾区内全域を使って開催し、周遊を促すことでフェアだけでなく葛飾区の観光スポットも楽しめるつくりとします。また、規定のスタンプを集めた方から抽選と先着でそれぞれ景品への引き換えも行います。



軒先園芸コンクール

会場装飾部門と軒先装飾部門の2種を開催し、来場者にオンライン投票をしてもらい入賞者を選定します。フェア最終日の6月14日には表彰を行います。

みどりと花のフェア担当課

事業名

「全国みどりと花のフェアかつしか」の開催

予算額

807百万円

Opening

メイン会場である葛飾にいじゅくみらい公園では5月16日にオープニングイベントが行われます。

オープニングイベントでは公式アンバサダーの“斎藤飛鳥さん”も出演予定で、テープカットやフラワーアレンジメント等を行います。



Legacy

フラワーメリーゴーランドや花壇をフェア終了後もフェアの象徴として残すことで、みどりと花による景観の美化に加え、区民や区内団体との協働による花壇活動への継続を促します！

これにより、訪れた方に自然あふれる葛飾の魅力を定着させます。



協働による花の植え替えの様子

曳舟川親水公園広場ゾーン 花壇イメージ

探究的な学びの充実を図ります！

総合的な学力向上
学習センター活用

予算額 399百万円

ここに注目

- ◆意欲が高い区立小・中学校の児童・生徒を対象にした「かつしかチャレンジプログラム」を更に充実します！
- ◆児童・生徒の読み解く力を育み、基礎学力の定着や論理的思考力の向上を目指します！
- ◆学習センター（学校図書館）の学校司書体制の強化や、開放時間の増加により、子どもの主体的な学びを支えます！



かつしかチャレンジプログラム 調べる学習コース 52万円

児童の知的好奇心、主体的な学びや課題を見つけて探究する力を高め、コンクールに挑戦します。

【学ぶ内容】

- ・テーマの決め方
- ・中央図書館にある本の調べ方
- ・調べた内容をまとめる方法など

「かつしかっ子調べる学習コンクール」

各コースで学んだことを生かし、一人一人が設定したテーマについて、区立図書館や各学校の学習センター（学校図書館）の本等を活用して調べたことを画用紙やノート、ファイルなどにまとめ、「かつしかっ子調べる学習コンクール」に出品します。

かつしかチャレンジプログラム

意欲が高い区立小・中学校の児童・生徒を対象に、土曜日を中心として活動し、能力をさらに向上させるための事業「かつしかチャレンジプログラム」を令和6年度に開設しました。

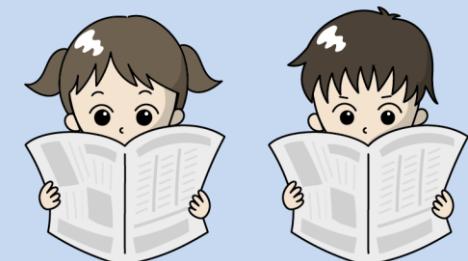
English Challenge コース、プログラミングコース、自然科学コース、理数分野コースを実施し、思考力やコミュニケーション能力等のさらなる育成を図っています。



読み解く力の育成 645万円

全校に「葛飾方式」として、小学校2紙、中学校3紙を配備した新聞活用の一環で、記事をもとに、「活字」を通じて、言語能力や情報活用能力、論理的思考を伸ばす教材を、令和7年度は小学5年生から中学2年生の全児童・生徒に導入しました。

令和8年度は、小学5年生から中学3年生に拡充し、取組の充実を図ってまいります。



学習センター（学校図書館）活用推進について 263百万円

抜
充

学校司書の配置日数等

新規

放課後及び夏季休業期間の学習センターの開放

子どもたちの在校時間中は、いつでも学習センター（学校図書館）を活用できるよう、学校司書を常駐させ、読書活動や探究的な学びの充実を図ります。また、放課後や夏季休業中の指定した日程で学習センター（学校図書館）に学校司書を配置し、子どもたちの読書活動や探究的な学びを充実させ、主体的な学びや課題を解決する力を高めます。

○勤務日数（小・中学校）

年間44週（一日6時間・週5日勤務）
※令和7年度は、年間42週

○大規模校への学校司書の複数配置（小学校）

令和8年度 新規配置（数校を予定）
※令和7年度は、複数配置なし

○夏季休業日の配置日数拡大

全区立小・中学校

○放課後の学習センター（学校図書館）の開放

区立小学校（数校）

※区立中学校は令和7年度と同じ日数を開放

新規

かつしかっ子調べる学習コンクールの実施（小・中学校）

子どもたちが学習センター（学校図書館）や区立図書館を活用し、調べることの楽しさを実感できるようにするとともに、調べたことをもとに分かったことや、学んだことを冊子等にまとめて表現する活動を充実させる取組として、「かつしかっ子調べる学習コンクール」を実施する。

新規

学習センター（学校図書館）活用推進モデル校の設置（小学校2校・中学校2校）36万円

学習センター（学校図書館）を活用した教育活動について研究及び実践を行い、好事例を紹介することで、区立小・中学校における学習センター（学校図書館）を利活用した取組の充実を図る。

【取組内容例】

- ・授業における学習センター（学校図書館）の活用に関する研究を進める。
- ・「葛飾方式」により配備された新聞に関する取組を実践する。
- ・探究学習の取組を充実させるため「かつしかっ子調べる学習コンクール」に取り組む。
- ・学校司書を活用し、読み聞かせやブックトーク、ビブリオバトル等をとおして、読書への関心や意欲を高める取組を実践する。



新規

学習センター活用推進アドバイザーの配置 388万円

学習センター（学校図書館）の活用改善を図るため、各学校に指導・助言する学習センター活用推進アドバイザーを教育委員会事務局に配置し、子どもたちが本に親しむ機会の増加や授業における探究的な学習等の充実を図る。

「明日」を
守る支援

物価
高騰
対策

区民の生活を守るために 様々な施策で支援します！

物価高騰対策に関する経費
約32億64百万円

エネルギー価格や原材料費の高騰等による個人・事業者の負担軽減、賃上げ環境の整備の一助として、以下の様々な対策を行っていきます。（対策の一部を記載）

下記4施策の
合計

プレミアム付 商品券発行

プレミアム率

プレミアム付商品券 **15%**
デジタル
プレミアム付商品券 **20%**

プレミアム付商品券 **16万セット**
デジタルプレミアム付商品券 **8万セット**
合計**24万セット**
予算規模588,378千円

(商工振興課)

令和8年度予算措置

物価高騰 緊急対策 支援金

個人事業主 **3万円**
法人 **15万円**

個人事業主**9,000件分**
法人**7,000件分**を想定
予算規模1,401,921千円

(産業経済課)

令和7年度予算措置(受付期間:令和8年2月～3月末)

物価対策 支援金

生活負担の大きい
低所得者世帯へ
1世帯1万円

7年度住民税均等割非課税世帯等の
低所得者向け**80,000世帯**を想定
予算規模1,001,311千円

(福祉管理課)

令和7年度予算措置

給食費 助成

食材価格高騰対策
公費負担 約**20%UP**

学校給食費の無償化
食材価格高騰分の公費負担を拡大
予算規模272,011千円

(学務課)

令和7年度予算措置（令和8年度も継続）

「将来」を
築く支援

区内中小企業の経営安定化や持続的な成長に
向けた生産性向上を図るため、様々な支援事
業を展開します！

事業名

・雇用支援事業

・中小企業融資事業経費

・機械設備メンテナンス等経費助成

予算額

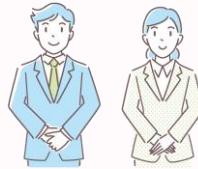
21億68百万円

各種
企業
支援

●雇用支援事業

(産業経済課)

令和8年度から、求職者・
区内在勤者向けの労働相談
窓口を開設



●人材確保・人材定着支援事業費助成 (産業経済課)

働きやすい職場環境づくりのための経費(工事、備品・
消耗品購入)の一部助成
例)従業員用トイレの整備、ファン付き作業服の購入

●雇用促進奨励金 (産業経済課)

国のキャリアアップ助成金(正社員化コース)等への
上乗せ補助

R8
拡充

- 産業人材育成支援
補助 (商工振興課)
物流事業者従業員
が大型等免許
を取得した場合の
補助の対象に建設業
を追加

R8
拡充

●中小企業融資 (産業経済課)

令和8年度から「生産性向上・事業
拡大融資」の本人負担を抑え、積極
的な事業展開を促進
本人負担率△0.2%
信用保証料補助額の上限 +20万円

R8
拡充

●創業支援 (産業経済課)

●健康経営優良事業者認証 (産業経済課)

●SDGs宣言 (産業経済課)



雇用・人材育成支援

産業経済課
商工振興課

業務効率化・生産性向上支援

●機械設備メンテナンス等 経費助成 (商工振興課)

製造業者が長期間保有する機械設備(加工
機等)のメンテナンス経費の一部補助
補助率 1/2
補助限度額 10万円

●デジタル化支援事業 (産業経済課)

●葛飾ブランド創出支援事業 (商工振興課)

製造業者の優れた製品・技術を「葛飾ブランド」
として認定し、認定事業者へ展示販売会出展や
プロモーションスキル習得を支援

●町工場見本市 (商工振興課)

製造業が対象の商談主体の展示会。令和8年度は、
東京ビッグサイト内で開催する他展示会内で併催

R8
新規

R8
拡充

町工場
見本市
2024

販路拡大支援

切れ目のない支援を行うために (仮称) 子ども未来プラザ白鳥の整備を進めます

事業名

(仮称) 子ども未来プラザ白鳥の整備

予算額

457百万円

ここに注目

- ◆区内4か所目！(仮称) 子ども未来プラザ白鳥の建設工事を進めます
- ◆隣接する白鳥北公園もリニューアルし、屋内外の多様な遊び場を確保します

事業概要

葛飾区では、子育てしやすいまちをめざし、妊娠・出産、子育てに係る切れ目のない支援を推進しています。

「子ども未来プラザ」は、本区の切れ目のない支援を実現するための重要な柱の一つとなるべく、既存の基幹型児童館の建替えに合わせ、こども家庭センターの機能を有する地域の子育て支援の拠点施設として順次整備を進めています。



▲(仮称) 子ども未来プラザ白鳥 設計イメージパース図



区内4か所目！

白鳥保育園も併設！
保育内容：11時間保育、
緊急一時保育、
障害児保育ほか

ねらい

地域の子育て支援の拠点施設である子ども未来プラザを整備し、妊娠期から成人するまでの全ての子どもとその家庭への支援に取り組むとともに、配慮を必要とする子どもと家庭への支援を充実させます

整備状況



▲子ども未来プラザ鎌倉
令和2年1月開設



▲子ども未来プラザ西新小岩
令和4年7月開設



▲子ども未来プラザ東四つ木
令和6年1月開設



白鳥北公園(白鳥3-32-5) もリニューアル

リニューアル後は子ども未来プラザと一体の空間とします。障害の有無にかかわらず誰でも遊べるインクルーシブ遊具を設置する予定です。



子ども未来プラザ

子育て政策課

より円滑に、より充実した支援の入口へ

事業名

発達支援に関する事業の拡充及び拠点整備

予算額

139百万円

ここに注目

- ◆子ども発達センター水元分室を旧区立水元幼稚園跡地に移転します！
旧園舎を改修して活用し、子どもの発達支援に係る事業の拡充を図っていきます。

事業概要

【内容】

①児童発達支援事業

②家族支援事業

③初回発達検査事業

④施設改修

※既存の園舎を改修して建物を整備するとともに、送迎バス乗り入れに伴う外構の整備等を実施します。

【移転スケジュール】

令和8年 10月

改修工事着工
ペアトレ等の検討・試行

令和9年 12月

改修工事竣工
移転後、運営開始



ねらい・背景

家族支援事業として新たにペアレント・トレーニング（ペアトレ）を実施し、保護者が子どもの特性への理解を深め、適切なかかわり方を習得する機会を提供します。保護者同士の交流も生まれ、ペアトレを通して保護者の孤独感やストレスの軽減を図ります。

また、早期の支援につながるように、移転後の水元分室で初回発達検査を実施します。子ども家庭支援課と連携を図りながら検査に要する時間を短縮し、より円滑に支援へつなげていきます。

施設改修に関しては、間仕切りを設けるなど面談や発達検査を行いややすい環境を整備します。

あわせて、バリアフリートイレの設置や、児童用・一般トイレの更新を行うほか、老朽化した箇所の改修を実施して療育の環境も向上させ、誰もが安心して利用できる施設づくりを進めます。

ハード面

- 既存園舎を改修して活用
- >より安心して利用
- いただける環境を整備
- >発達検査や面談も実施しやすい環境へ

ソフト面

- 早期支援の実現と家族支援事業の実施
- >ペアトレの実施
- >初回発達検査の実施・結果の最短即日交付等

こども誰でも通園制度開始します

事業名

乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）

予算額

623百万円

ここに注目

- ◆未就園の子どもたちも保育所等を利用することができる国的新たな通園制度
- ◆利用者負担額も無償化！

ねらい

全ての子どもたちの育ちを支援し、良質な成育環境を整備するとともに、全ての子育て家庭に対して多様な働き方やライフスタイルにかかわらない形での支援を強化します！

事業概要

こども誰でも通園制度

○利用対象者

0歳6か月から満3歳未満の保育所等に通っていない利用認定を受けた子ども

○利用上限時間

子ども一人当たり**月10時間**

○実施施設

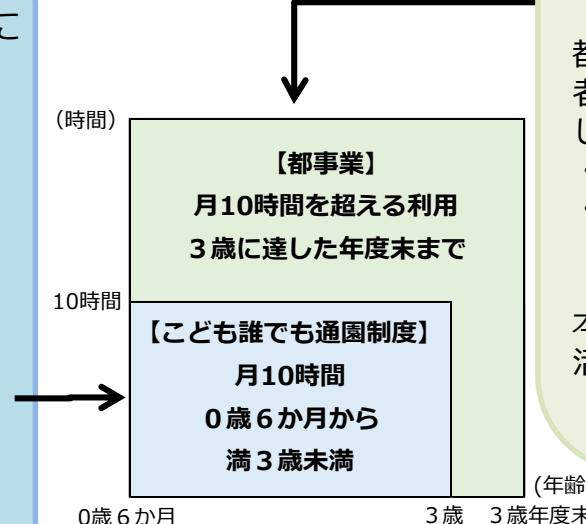
保育所、幼稚園、認定こども園等体制が整った施設

○利用者負担額

原則無償

○事業開始

令和8年4月から



※両制度を組み合わせた
利用イメージ

多様な他者との関わりの機会の 創出事業（都事業）

都事業は、こども誰でも通園制度の利用対象者及び利用上限時間を、以下のとおり上乗せした事業です。

- ・10時間を超えた利用
- ・3歳に達した年度の末日までの利用可能

本区では、施設に空きがある場合、都事業を活用していきます。

【制度に関すること】子育て政策課
【運営に関すること】子育て施設支援課
【認定に関すること】保育課

ケアリーバーの自立を支援する拠点事業を 開始します

ここに注目

- ◆ケアリーバーが気軽に集まれる交流会を実施します！
- ◆気軽に相談ができるよう様々な形態の相談窓口を設置します！
- ◆ケアリーバーが困っている生活に係る手続きを支援します。

事業概要



○交流イベントを実施します

定期的（2か月に1度程度）に、ケアリーバーが気軽に集まれる交流会を実施します。

○相談窓口の設置

対面・電話（週3日、1日4時間）のほか、常時メールやSNSで相談を受けます。

○生活補助支援

生活全般の手続きの補助、同行支援などを通じて、ケアリーバーに寄り添う支援を実施します。

事業開始予定 令和8年11月

事業名

社会的養護自立支援拠点事業

予算額

8百万円

ねらい

ケアリーバーについては、令和7年度事業では措置解除者が施設等を退所する際に、進学や就職に向けた準備に必要な経費として20万円の支援を行ってきました。令和8年度は、相互交流を行える場所を提供するとともに、生活をしていくうえで必要となる情報の提供や相談・手続きの支援を実施することで自立を支援していきます。

ケアリーバーとは？

児童養護施設や里親など、社会的養護のもとを離れた子どもや若者のことです。家族の支えがないまま社会に出ることもあり、経済的困難や精神的孤立に直面することも多く、切れ目ない援助が必要とされています。



児童相談課

学校施設の改築を進めます

事業名

学校施設の改築

予算額

170億93百万円

ここに注目

良好な教育環境を維持するため、通学区域の変更等も視野に入れつつ学校の適正規模を確保し、地域とのつながりも重視しながら、学校施設の計画的な改築を進めていきます。また、引き続き学校改築に当たっては、環境に配慮した技術の導入を進め、従来の建物で必要なエネルギーから50%以上の削減をする「ZEB Ready」以上を目指していきます。

学校名	令和8年度予定	完了予定 (校庭整備まで)
道上小学校	5月まで既存校舎解体工事 4月から外構整備工事	令和9年2月
水元小学校	6月まで既存体育館解体工事 以降、外構整備工事	令和9年4月
二上小学校	4月から既存校舎等解体工事	令和10年6月
常盤中学校	引き続き新校舎建設工事	令和11年1月
東四つ木小学校・中川中学校	10月まで既存校舎解体工事 以降、新校舎建設・外構整備工事	令和11年10月
宝木塚小学校	引き続き新校舎建設工事 8月まで仮校庭整備工事	令和12年11月
よつぎ小学校・四ツ木中学校	8月まで既存校舎解体工事 11月から新校舎建設工事	令和13年7月
柴又小学校・東柴又小学校	引き続き新校舎の基本・実施設計及びプール等解体工事 既存校舎給食室の改修工事 仮設校舎建設工事	令和13年度



△令和7年7月に完成した水元小学校 学習センター（学校図書館）



△令和7年7月に完成した水元小学校 普通教室

令和元年度～7年度 概ね1年に1校のペースで改築しています※

※一部改築・改修を含む

学校施設整備担当課

今年もモンチャレアプリと一緒に健康活動！

事業名

区民と事業者の健康活動促進事業

予算額

183百万円

ここに注目

モンチャレポイント付与対象イベントを拡大させたことなどにより、利用者の健康意識向上に加え、区内イベントの参加者増加にもつながっています。

事業概要

令和6年10月より開始した「モンチッチと歩こう！～かつしかActive チャレンジ～（愛称：モンチャレ）」。モンチャレとは、一人一人が最適な健康づくりの提案を受けることができ、健康づくりやその成果に応じてかつしかPAYに交換できるポイントが貯められる健康アプリのことです。区民等の健康行動の変容を促すため、誰もが楽しく健康づくりに取り組むことを支援しています。

今後は、フィットネスブームを捉えてPFCバランスを意識する方や参加の割合が低くなっている男性への参加促進のほか、モンチャレアプリの操作説明会を実施し、スマホが苦手な高齢者などにも広く普及をしていきます！

※ PFCバランスとは

食事におけるProtein（タンパク質）、Fat（脂質）、Carbohydrate（炭水化物）の三大栄養素の摂取割合のことで、健康維持やダイエット、体づくりにおいて非常に重要だとされます。



かつしかPAY取扱店增加

昨年度から100店舗

約500店舗 → 約600店舗

モンチャレPからかつしかPAYには、1ポイント1円相当で交換できるのも大きな魅力です！

ポイント付与対象拡大

昨年度12月比で3倍！

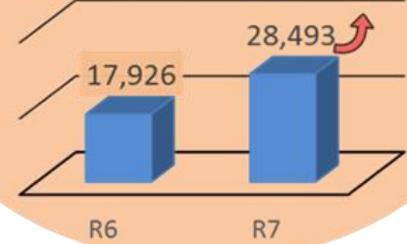
約100種 → 約300種

食事内容や体重入力のほか、自治町会活動などの社会活動への参加もポイント付与対象へ！



好評いただき3万人突破間近！

モンチャレ 参加者数推移
(R6/1/5時点)

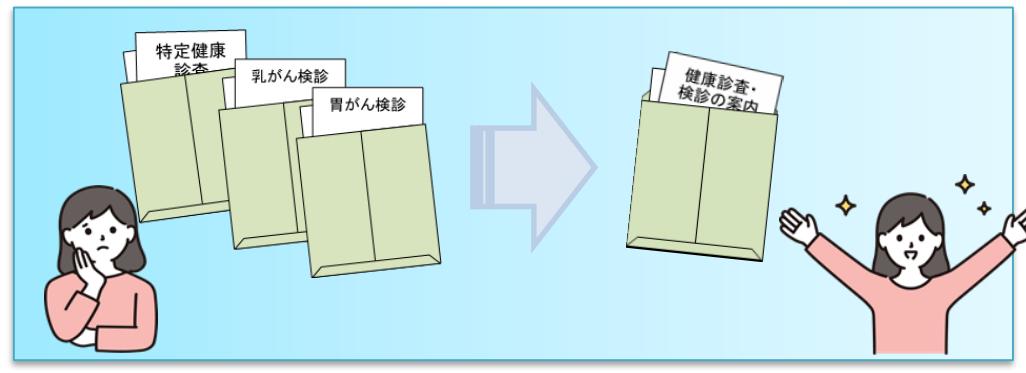


迷わず受診でまち全体を健康に

健康診査やがん検診の案内がもっと分かりやすくなります

ここに注目

複数の健診等の受診案内が1つにまとめり、5月末に行う一斉発送の1回で届きます。



事業概要

これまで複数の健診等の受診案内を健診ごとに分けて送付していました。令和8年度からは案内を1種類に統一し、1回でまとめてお知らせします。今年度から開始した**がん検診無料化**に引き続き、区民の受診率と健診サービス向上につなげます！



事業名

予算額

健康診査等の受診案内統合化

60百万円

健康推進課

ねらい

どの健診の対象となっているのか、他にどんな健診があるのか、より分かりやすく、より確実にご案内するための取り組みです。

効果

- ・案内が届く回数が減り、より確実に案内を受け取れるようになります。
- ・自分に必要な健診が1回で分かるようになります。
- ・予約や受診の準備がスムーズになります。

統合化対象の健康診査／検診一覧

特定健康診査	胃がん(内視鏡)検診
長寿医療健康診査	乳がん検診
筋肉元気健康診査	子宮頸がん検診
いきいき健康診査	骨粗しょう症予防検診
基本健康診査	肺・大腸・前立腺がん検診
健康づくり健康診査	肝炎検査
眼科健康診査	胃がんハイリスク検診

緑内障など初期の自覚症状がない目の病気を早期発見するために、

眼科健康診査の対象年齢を拡充しました！

ここに注目

視覚障害の原因となる緑内障などの目の病気を早期に見つけるため、健康診査の対象年齢に50歳を拡充！

事業名

眼科健康診査

予算額

35百万円

ねらい・背景

40歳以上の20人に1人が緑内障を発症すると言われています。進行すると視野が欠け、失明の原因第1位です。自覚症状がない早期に発見し、治療を始める機会を増やします。

事業概要

これまで45歳、60歳を対象に区内眼科医療機関（約32か所）にて、視力検査や精密眼圧検査、眼底カメラ検査などを実施しておりましたが、早期発見率向上のため**50歳を新たに対象とします。**

眼底カメラ検査は、緑内障や白内障などの目の病気の診断のほか、高血圧や動脈硬化、糖尿病などの生活習慣病の状態もわかり、生活習慣病の重症化予防の効果も期待できます。

令和8年度 対象者数

45歳：6,200人

50歳：7,000人

60歳：5,520人

早期発見の
機会が増える

アイフレイルの
認知度向上



かかりつけ医
の普及促進

生活習慣病
重症化予防

※「アイフレイルとは」…加齢に伴う目の機能低下
体が変化するのと同じように、目も変化します。
適切な治療と対処で進行を抑えることが可能です。

認知症になっても自分らしく安心して暮らし続けられる葛飾へ

事業名	認知症施策推進事業
予算額	32百万円

ここに注目

- ・ **もの忘れ予防健診の対象年齢の拡大**
68歳から75歳まで → 68歳から80歳まで
拡充
- ・ **認知症普及啓発イベントの実施**
認知症に関する正しい理解を広めます。
新規
- ・ **介護従事者向け研修の実施**
認知症ケアの質の向上を図ります。
新規

事業概要

①認知症の普及啓発

認知症に関する正しい理解を広めるため、
認知症サポーター養成講座等を実施します。

②認知症の早期発見・早期支援

医療機関との連携を図り、**もの忘れ予防健診**や
認知症初期集中支援チーム事業等を実施します。

③認知症高齢者徘徊対策

認知症により徘徊する方を早期に発見し、
身体・生命の安全を守るとともに、万が一の事故に備え、**おでかけあんしん事業**等を実施します。



ねらい・背景

認知症は誰にとっても身近なものであり、認知症になったからといって、その人自身が何もわからなくなる、何もできなくなるわけではありません。

認知症のある方もそうでない方も区民一人一人が相互に尊重し、支え合いながら共生し、認知症になってもいつまでも住み慣れた地域で自分らしくいきいきと安心して暮らし続けることができる葛飾の実現を目指します。

もの忘れ予防健診

区内の指定医療機関
にて実施！
(約120か所)

普及啓発イベント

認知症月間（9月）に
実施！
→VR体験、相談窓口等…

介護従事者向け研修

経験豊富な現役従事者による研修



令和7年度中に葛飾区認知症と共に生きるまちづくり条例の制定、葛飾区認知症施策推進計画の策定を目指しており、認知症施策を総合的かつ計画的に進めています！

高齢者支援課

より環境に配慮した「かつしかエコ助成金」へ

ここに注目

より性能が高い設備の導入を対象とし、区全体の環境行動を促進！

ここが変わります！

高断熱住宅



より断熱性能の高い住宅に誘導するため、助成額の見直しを図るとともに、太陽光発電などの創エネを含めたZEHについては加算額を20万円→30万円に増額します。

	現行	変更後
断熱等性能等級5	30万/戸	15万/戸
断熱等性能等級6	60万/戸	60万/戸
断熱等性能等級7	80万/戸	80万/戸
ZEHの場合の加算	20万加算	30万加算

※ZEHとは、住宅の省エネ化と創エネにより年間のエネルギー消費量を概ねゼロ以下とする住宅を指します。

事業概要

「ゼロエミッションかつしか」の実現に向けて、再生可能エネルギーの利用促進や省エネに配慮した設備などの導入費用の一部を助成する「かつしかエコ助成金制度」を継続します。令和8年度はより省エネ性能の高い住宅の普及拡大を図ります。

高反射率塗装



対象基準変更 65%→70%

対象をより高い反射率の塗装に引き上げることで、区全体の環境配慮への意識をさらに上げていきます。

	補助額
屋根等又は壁の塗装	5万円/戸
屋根等及び壁の塗装	10万円/戸

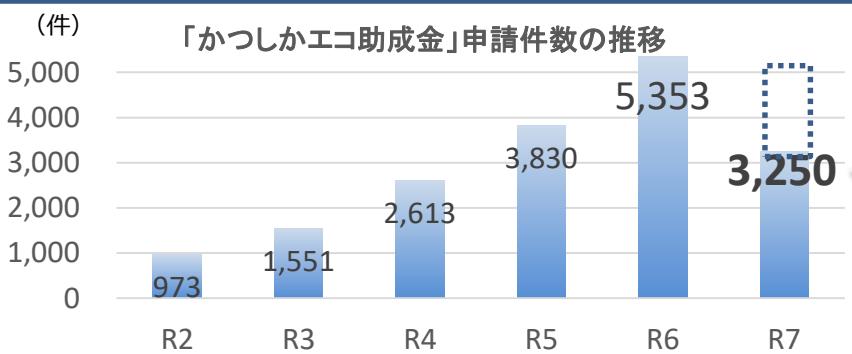
太陽光発電・HEMS



太陽光発電システムとHEMS設置の併設加算を新設！併設時に1万円を加算します。

	補助額
太陽光発電設置	6万/kW (上限30万)
HEMS設置	2万
太陽光発電+HEMS併設で加算	1万加算

※HEMSとは、家庭内のエネルギー使用量を「見える化」し、エアコンや給湯器などの電気設備・家電を最適に制御するシステムです。



令和7年12月時点！
年度末に昨年同等の
申請数になる見込み

住まいの質が、暮らしの安心をつくる

事業名

良質な住宅の確保

予算額

65百万円

ここに注目

- ◆良質な住宅を確保するため、子育て世帯向けの設備や防災機能を備えた良質な集合住宅の誘導、分譲マンションの管理適正化の推進、高齢者向け優良賃貸住宅の移行を含めたセーフティネット専用住宅への支援を進めます。

事業概要

【優良集合住宅（子育て型・防災型）の誘導】

- ・子育て世帯向けの設備や防災機能を備えた良質な集合住宅を「優良集合住宅」として認定・公表し、整備に要する工事費を助成。

（例：子育て型 賃貸集合住宅を新築する場合、**最大300万円/1戸**）

【分譲マンションの管理適正化の推進】

- ・分譲マンション維持管理セミナー・相談会
- ・管理計画認定取得のためのアドバイザー派遣
- ・マンション外観調査・アウトリーチ型支援

【セーフティネット専用住宅への支援】

- ・住宅確保要配慮者の入居を拒まない賃貸住宅（セーフティネット専用住宅）の供給を支援するため、要件を満たす住宅の改修費及び家賃低廉化助成を実施。

（改修費助成：上限 200万円 家賃低廉化助成：月額上限 26,000円）

ねらい・背景

持続可能な地域社会を構築するため、年齢や状況にかかわらず、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる住環境の整備を目指します。

住生活に関する様々な機能について特に配慮した集合住宅を、**優良集合住宅**として認定（子育て型・防災型）し、整備に要する工事費を助成します。

令和7年度 子育て型認定第1号の集合住宅が竣工

Grandir Tateishi

（葛飾区立石5丁目）



また、マンション外観調査の実施などを通じて、**分譲マンションの管理適正化の推進**を図るほか、住宅確保要配慮者が安心して入居できる住環境を確保するため、**セーフティネット専用住宅の供給を支援**します。

安全・安心なまちづくりの実現

立石駅北街づくり担当課
金町街づくり担当課
新小岩街づくり担当課

市街地再開発事業により、災害に強く、安全・安心に住み続けられる魅力あるまちを目指して街づくりを進めています。

立石駅北口地区市街地再開発事業

予算額:8,382百万円

- ・地区の東西に防災性の高い2棟の不燃建築物を整備し、商業・住宅・公共公益機能を導入します。
- ・約3,800m²の交通広場や区画道路を整備することにより、交通ネットワークの形成を図ります。
- ・緑豊かな広場等のオープンスペースを整備することにより、憩いと潤いのある良質な空間の形成を図ります。
- ・令和7年11月から建築工事に着手しており、令和11年度の竣工を予定しています。



立石駅北口地区市街地再開発事業完成イメージ
(京成立石駅南側から)



立石駅北口地区 交通広場完成イメージ
(北側から)

東金町一丁目西地区市街地再開発事業

予算額:508百万円

- ・理科大学通りの拡幅、歩道状空地の整備や建物の更新により、地域の防災性・安全性の向上を図ります。
- ・広場2か所の整備や生活利便施設の充実により、賑わいの創出を図ります。
- ・令和7年度に商業施設や自動車教習所、東金町地下自転車駐車場が含まれる施設（Ⅰ期部分）が竣工しました。
- ・現在、Ⅱ期新築工事に向けて解体工事中であり、令和12年度の竣工を予定しています。



東金町一丁目西地区市街地再開発事業完成イメージ
(北側から)

新小岩駅南口地区市街地再開発事業

予算額:244百万円

- ・南口駅前広場の再整備で未広通りとの交差点の改良及び歩道を拡幅します。
- ・施設建築物の整備に伴い、区画道路や歩行者通路を新設します。
- ・駅前の活力や賑わい形成に資する商業・業務・サービス機能の導入及び良質な住環境形成に資する居住機能の整備を図ります。
- ・令和7年12月から建築工事に着手しており、令和14年度の竣工を予定しています。



新小岩駅南口地区市街地再開発事業
完成イメージ
(平和橋通りから)

みんなでつくる 安全・安心なまち葛飾

事業名

地域安全活動支援
防犯対策の強化

予算額

316百万円

ここに注目

◆地域団体と区が防犯カメラの設置を進め、町全体の防犯力を高めます！

◆区内犯罪の約4割を占める自転車盗難について、啓発を強化し、被害防止を図ります！

地域安全活動支援

(1) 街頭防犯カメラ整備費助成（1億2,938万円）

自治町会や商店会が設置する防犯カメラに助成し、地域の見守りを強化します。

令和7年度：252台設置予定（累計1,727台予定）

令和8年度：300台設置想定



(2) 区設置の街頭防犯カメラ（3,179万円）

地域団体による設置が難しい駅前や主要道路に、区がクラウド型の防犯カメラを設置し、犯罪の未然防止と災害対応に活用します。

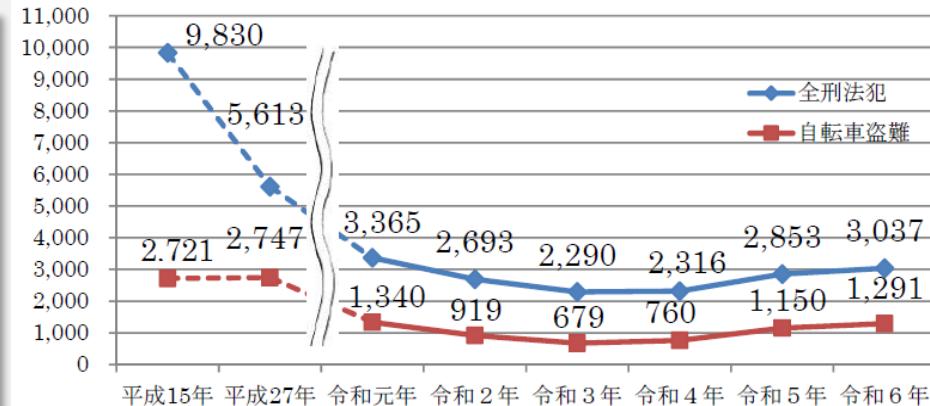
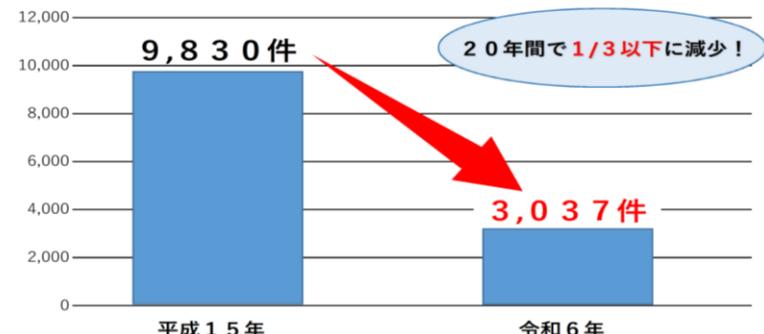
令和7年度：駅前に20台設置

令和8年度：**主要道路に40台設置予定**

(3) 自転車盗難対策（148万円）

施錠意識の向上を図るため、区内高校生など若年層と連携した駅前や商業施設でのキャンペーン等を予定しています。

葛飾区内の犯罪発生件数



防犯対策の強化

住まいの防犯対策助成も継続します！(9,800万円)

引き続き区民が自宅に防犯設備を設置する際の助成を行い、犯罪の未然防止を図ります。

令和6年度：3,785件

令和7年度：1,621件（令和7年12月末時点）

地震時の出火防止対策事業を強化します

事業名

住宅用消火器購入支援事業
地震時の電気火災被害防止事業

予算額

18百万円

ここに注目

感震ブレーカーで
通電火災防止



火災がおきたら
消火器ですぐに消火



ダブルで進めて地震時の被害を大幅に減らします！

事業概要

首都直下地震等による東京都の被害想定では、葛飾区は揺れによる被害よりも火災による被害の方が大きいとされています。現在実施している感震ブレーカー設置支援事業を拡大するとともに、新たに戸建て住宅向けの消火器購入支援事業を創設し、出火防止対策をさらに強化します。

新規

住宅用消火器購入支援

256万円

対象世帯が新たに購入した消火器等の費用を助成します。

対象世帯	対象製品	助成限度額
区内の戸建て住宅 にお住いの世帯	・消火器 ・住宅用消火器 ・エアゾール式簡易消火具	消火器等の 種類によらず 5千円 (1/2)

消火器の購入、買い替えを支援

追加

感震ブレーカー設置支援

1,588万円

対象世帯が感震ブレーカーの設置に要した費用を助成します。

対象世帯	設置方法	助成限度額
①世帯全員がア～ウのいずれかに 当てはまる世帯 ア 満65歳以上の方 イ 身体障害者手帳1級又は2 級の交付を受けている方 ウ 愛の手帳1度又は2度の交 付を受けている方	感震ブレーカー 機能付分電盤 への取替	5万円 (1/2)
②火災危険度ランク3以上の地 域の木造戸建て住宅（2階建 て以下）にお住いの世帯	上記以外	2万円 (10/10)
③火災危険度ランク1、2の地 域の木造戸建て住宅（2階建 て以下）にお住いの世帯	設置方法に よらず	2万円 (10/10)

火災危険度ランク1、2の地域へ拡大

地域防災担当課

放置させない つながる空家等対策

ここに注目

◆特定空家等及び管理不全空家等の所有者に対する助言・指導等を行うほか、必要に応じて財産管理制度を活用し、地域住民の生命・身体・財産の保護及び生活環境の保全等を推進していきます。

事業概要

総合的な空家等対策による良好・良質な住環境づくり

【5つの基本目標】

- ①空家等の発生予防
- ②空家等の活用推進
- ③空家等の適正管理
- ④特定空家等の除却等
- ⑤総合的な推進体制の構築

緊急安全措置の実施

緊急時に空家等の倒壊等の危険から近隣住民の安全確保を図るため、条例に基づき、危険回避措置を実施

特定空家等の除却費助成制度

特定空家等の除却工事費の一部（最大250万円）を助成

財産管理制度の活用

管理不全建物管理制度など、裁判所への申し立てを通じた財産管理制度の活用により、空家等の適正管理等を推進

事業名

空家等対策

予算額

38百万円

ねらい・背景

令和5年12月

空家等対策の推進に関する特別措置法 改正

・特定空家等の除却等の更なる促進に加え、新たに「管理不全空家等」に対する措置などの規定が新設

令和7年2月

「葛飾区空家等対策計画」改定

令和7年10月

葛飾区空家等の適正管理に関する条例 施行

条例に基づく緊急安全措置の実施や助成制度を活用した特定空家等の除却促進、財産管理制度の積極的な活用などに加え、外観調査による管理不全空家等の認定を進め、所有者等に対して適切な助言・指導等を行うことで、良好・良質な住環境づくりに取り組みます。
新規



建物を守り、暮らしを守る



事業名

民間建築物耐震診断・改修事業

予算額

662百万円

ここに注目

◆令和8年度から、近年の資材価格及び人件費の高騰による事業費の増加を踏まえ、※旧耐震基準及び※グレーゾーン住宅の木造住宅の建替え、補強設計・耐震改修及び耐震改修の助成限度額を引き上げます！

※旧耐震基準（昭和56年5月31日以前に工事に着手されたもの）

※グレーゾーン住宅（昭和56年6月1日から平成12年5月31日までに工事に着手されたもの）

事業概要

建築物の耐震化を進めることで、震災時における建築物の倒壊などから人命を保護するとともに道路の閉塞を防ぎ、大地震発生時の被害軽減と防災上安全な街づくりを促進しています。

ねらい・背景

震災時に自力での避難が困難となる障害者等が居住する住宅については、優先的な耐震化が求められています。しかし、工事費の自己負担が大きく、改修に踏み切れない世帯が依然として多い状況にあります。東京都では令和7年度から令和10年度までを限定して、このような障害者等への助成限度額の加算を実施しています。

本区も木造住宅の補強設計・耐震改修及び耐震改修について、障害者等が居住する住宅を対象に現行の助成限度額に東京都の加算分61.2万円を上乗せし、補助率を2/3から10/10に拡充します

20万円UP!

区独自

61.2万円
加算!
都加算



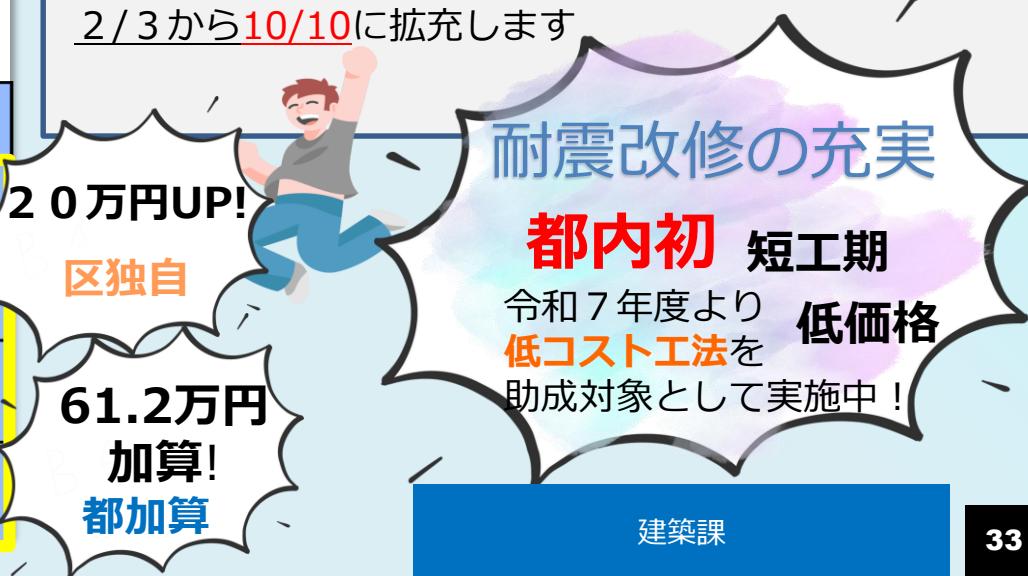
耐震改修の充実

都内初 短工期

令和7年度より
低コスト工法を
助成対象として実施中！

建築課

	補助率 及び 助成限度額			
	～令和7年度	令和8年度～		
	2/3	200万円	2/3	220万円
建替え	2/3	200万円	2/3	220万円
補強設計・耐震改修 (低コスト工法含む)	2/3	200万円	2/3	220万円
耐震改修 (低コスト工法含む)	2/3	180万円	2/3	200万円



こち亀記念館＆こち亀連載50周年！

こち亀イベント特集



こち亀記念館1周年を記念して、令和8年3月13日から
生原画展を開催！

3月下旬には、こち亀記念館1周年イベントを開催！

令和8年度は記念館や亀有地域で販売する新商品を更に充実、
こち亀記念館移動派出所（※）を区内イベントに積極的に派遣！
亀有地域を巡りながらこち亀グッズ・グルメを楽しめる
ラリーイベントも実施！

こち亀連載50周年を「こち亀ゆかりのまち・
亀有」として、区と地域が一体となって盛り
上げていきます。



（※）こち亀記念館
移動派出所

アニメ制作会社では、
新アニメプロジェクト
も始動しています。

新
こち亀
記念館
亀有公園前
派出所



▲新こち亀
ティザービジュアル

R7

こち亀記念館の軌跡

3/22

こち亀記念館
OPEN！

4/18

来館者
1万人突破

9/13

こち亀記念館
移動派出所
稼働開始

9/14

来館者
5万人突破

11/18

Thea Award
ミュージアム部門賞
受賞

11/19

こち亀記念館1F
無料開放開始

R8

1/4

来館者
8万人突破

3/22

記念館
開館1周年

9月

漫画『こち亀』
連載50周年

©秋本治・アトリエびーだま／集英社

©秋本治・アトリエびーだま／集英社・ADK

事業名

かつしか観光推進事業
亀有・柴又地域観光拠点施設活用推進事業

予算額

282百万円

観光課



こち亀記念館

待望の新作グッズ販売開始！



▲両津勘吉キューピー、こち亀マンホールコースター
(株式会社オビツ製作所)

今後も、葛飾区内産業との協働で製作した
商品を続々販売予定です！



亀有地域では新たな「こち亀」
グッズやグルメも続々誕生！
「こち亀オリジナルグッズ&
グルメMAP」をこち亀記念館や
亀有観光案内所などで配布中です。

水元公園スケートボード広場 基本設計・実施設計を開始します！

事業名

スポーツ施設の利用しやすい環境整備
(水元公園スケートボード広場整備)

予算額

16百万円

■ 整備計画

全体

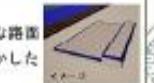
- 葛飾区ならではの街並みや河川をコースやセクションで表現するとともに、音楽(BGM)の効果的な活用により「ストリートスポーツ」としての雰囲気を表現し、文化的側面を通じた魅力発信
- 安全性の確保
- 植栽やシェードを用いた日よけスペースにベンチ等が設置された滞留空間を配置

管理(トイレを含む)ゾーン

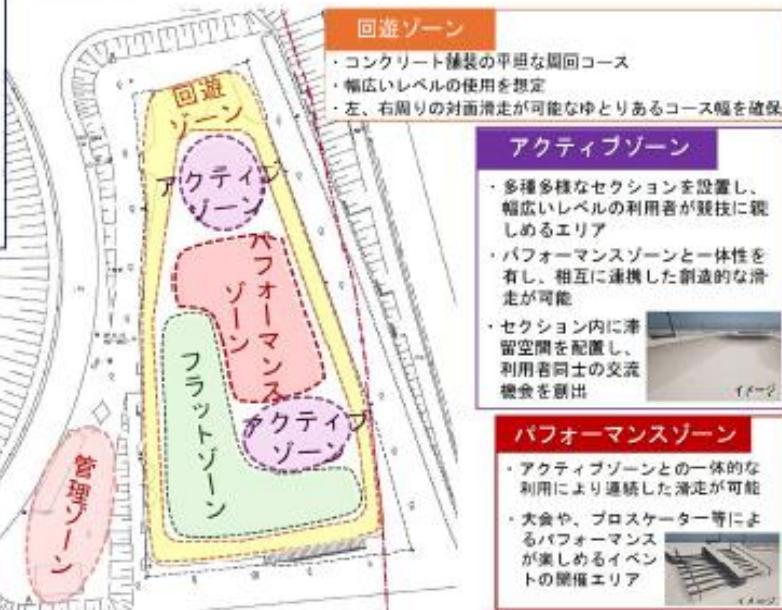
- 受付(利用・道具レンタルなど)、安全管理、マナーアップ活動等の実施
- 整備計画地の利便性の向上を図るためのトイレ新設(スケートボード以外の公園利用者も利用可能)

フラットゾーン

- コンクリート舗装のフラットな路面
- 基礎的な練習から創造性を活かした滑走まで幅広く対応



滑走エリア	全体	約 2,670 m ²
管理施設	管理事務所 倉庫	約 50 m ² 安全管理、利用受付、備品収納等
安全対策	フェンス	高さ 3m / 延長約 200m
	出入口	高さ 3m 両開き門扉
	照明	JIS(日本産業規格) 照明基準に準じた 150lx 以上の照度を確保
その他	トイレ	約 30 m ² 男性用 1か所、女性用 1か所 バリアフリートイレ 1室
	駐輪スペース	約 70 m ² (約 35 台分)
運営時間(想定)	平日・休日	午前 9 時～午後 9 時 (最終受付 午後 8 時 15 分)



ここに注目

- ◆大会等が実施できる施設とし、スケートボードの魅力や楽しさを発信していきます！
- ◆初心者や家族連れなど、年齢経験問わず多くの方が楽しめる、魅力ある施設を目指します！
- ◆葛飾区ならではの街並みや河川をコース等で表現し、本区の街中を滑走するようなイメージのスケートボード広場とします！

【スケジュール】

- 令和 8 年度…基本設計・実施設計
関連法に基づく許可申請等手続き
令和 9 年度…整備工事
令和 10 年度…開設準備(完了後供用開始)

整備対象地 (葛飾区東金町8-27-1)



AI活用を前提とした業務へシフト！

事業名

デジタル技術の効果的な活用推進

予算額

709百万円

ここに注目

目的に応じて、様々な生成AIを活用し、AIを前提とした業務のあり方への転換を進めます。

ねらい・背景

区独自の情報を学習させた生成AIの活用や、音声認識による窓口業務サポートAIである「行政特化型AIエージェントシステム」など、積極的なAIの活用により区民サービス向上を図ります。

事業概要

1. 全庁的なAIの活用推進

生成AIを活用し、AIを前提とした業務への転換を進めます。

区分	内容	活用範囲
ChatGPT 【令和6年4月導入】	市販のChatGPT 一般的な情報検索や確認に活用	区の端末が利用できるすべての職員にIDを付与しています。（約3,600人）
かつしかChat 【令和6年6月導入・令和7年7月拡大】	葛飾区の条例や規則、各種計画、統計情報、各課で作成している業務マニュアルなど、また業務で参照する各分野の専門書を学習させている。 市販のChatGPTには含まれていない区の細かな情報も検索でき、またノイレシネーションが起こりにくいため信頼性が高い。	区の端末が利用できるすべての職員にIDを付与しています。（約3,600人）
行政特化型AIエージェントシステム 【令和7年9月から検証開始、令和8年度から本格稼働】	かつしかChatの進化系 マイクを繋ぐことで音声認識によりAI検索ができる。 主にお客様対応で活用	区民対応がある窓口で職員が利用します。令和8年度は6か所の区民事務所と子育て応援課に設置します。
Copilot <small>新規</small>	Microsoft365と連携する市販の生成AI	業務の中心が事務作業である職員にIDを付与します。（1,700人）
窓口来庁予測 <small>新規</small>	過去の来庁者数や天気予報、暦、区の業務スケジュールなどから、窓口単位で日々の来庁者数を予測。 混雑予測の公開や、区民事務所、オンライン、コンビニなどの他の手続方法をご案内することにより、混雑の集中を回避し、お待たせしない窓口を目指す。	令和8年度に試行 AIに学習させるデータの種類や重みづけを検証し、予測と結果とのギャップを確認しながら、精度向上を図る。

デジタル技術を効果的に活用し より「届く・伝わる」情報発信へ

ここに注目

区民に、より「届く・伝わる」情報発信の実現のため、
デジタルツールの試行運用を開始します！

ねらい・背景

デジタルツールの試行運用により、区民の興味関心、必要としている情報を分析し、ニーズに沿った広報活動につなげます！

事業概要

2. 新たなデジタル技術の効果的な活用に関する検証、試行運用

新たなデジタル技術の効果的な活用に関する検証や試行運用を行います。より「届く・伝わる」情報発信に向け、デジタル技術の本格的な活用を目指し、上半期から検証を進めます。



キーワード分析ツールを活用した 区公式ホームページの検索性の向上

区の公式ホームページを訪れている人が、どんなワードを検索して葛飾区の公式ホームページにたどり着いたのか、どんなワードが検索項目として多いのかなどを分析できるツールを試験導入します。検索が多い、関心の高い情報のページを充実させます。



ホームページで
詳細情報まで
わかりやすく

関心の高いページを
SNSでさらに拡散！

相互連携して
発信力強化

SNSで注目が高い
イベントや講座の
ページをより充実！



SNS利用分析ツールを活用した 情報発信力の向上

XやFacebook、TikTokなどの区公式アカウントについて、各投稿の閲覧数や拡散状況などの状況を分析できるツールを試験導入します。閲覧が多い、拡散されやすい分野や内容を把握することで、区SNSの発信力を向上させます。



SNSで
欲しい情報を
タイムリーに